

## 再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道253号 <small>じょうえつさんわ</small> 上越三和道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：新潟県 <small>じょうえつ ちや</small> 上越市寺 至：新潟県 <small>じょうえつ さんわ ほんごう</small> 上越市三和区本郷	延長	7.0km		
事業概要	国道253号上越三和道路は、「広域的なネットワークの強化」、「第三次医療施設へのアクセス向上」、「冬期を含めた道路交通の安全性・信頼性の確保」などを目的とした延長7.0kmのバイパス事業である。				
H13年度事業化	H11年度都市計画決定	H13年度用地着手	H14年度工事着手		
全体事業費	約704億円	事業進捗率	26%	供用済延長	0.0km
計画交通量	10,700～22,200台/日				
費用対効果分析結果	B/C <small>(事業全体)</small> 1.04 <small>(残事業)</small> 1.6	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 385/599億円 〔事業費：380/594億円 維持管理費：4.7/4.7億円〕	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 625/625億円 〔走行時間短縮便益：455/455億円 走行経費減少便益：139/139億円 交通事故減少便益：31/31億円〕	基準年	平成28年
感度分析の結果	<small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=0.9～1.1(交通量±10%) <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=1.4～1.8(交通量±10%) 事業費：B/C=0.98～1.1(事業費±10%)              事業費：B/C=1.5～1.8(事業費±10%) 事業期間：B/C=0.96～1.1(事業期間±20%)          事業期間：B/C=1.5～1.7(事業期間±20%)				
事業の効果等	定性的な効果 ①北陸新幹線上越妙高駅と主要観光地のアクセス機能向上 ・北陸新幹線（上越妙高駅）の開業により、上越市への観光客の増加が見込まれており、市内観光施設へのアクセス性向上、域外との交流促進・地域の活性化に寄与する。 ②第三次医療施設（新潟県立中央病院）へのアクセス向上 ・上越地方唯一の第三次医療施設である新潟県立中央病院の30分圏域カバー人口が約6.2千人増加するなど、迅速な救急医療患者の搬送に貢献する。 ③冬期間におけるスムーズな交通の確保 ・冬期の路面凍結や積雪時の圧雪、路肩狭小区間におけるすれ違い困難などの問題のある国道253号（現道）を回避でき、冬期間の安全性・信頼性が向上する。 ④日常生活圏の中心都市である上越市街地へのアクセス向上 ・国道253号沿線地域と上越市街地は、通勤・通学・買い物など日常生活で密接なつながりがある。 ・日常生活圏の中心都市（上越市街地）とのアクセス性が向上し、日常生活の利便性が向上する。 ⑤地元の農産業を支援 ・国道253号沿線地域のしいたけ・山菜等の特産品は新潟県内や上越市内を中心としたJAえちご上越中央物流センターに集荷されるため、国道253号を利用することが多い。 ・上越市へのアクセス性が向上し、地元の農産業を支援する。				
関係する地方公共団体等の意見	地域から頂いた主な意見等： 上越市から、整備促進の要望を頂いており、特に上越三和道路並びに三和安塚道路の早期開通に向けた整備促進及び未整備区間（安塚IC以东）の早期着工について要望を頂いている。 知事の意見： 地域の安全・安心確保等のため、事業を継続する必要がある。				
事業評価監視委員会の意見	審議の結果、再評価及び対策方針（原案）の「事業継続」は妥当である。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・平成17年1月に1市6町7村が合併し上越市となる ・平成22年3月に三和安塚道路（浦川原IC～安塚IC）が暫定2車線で供用				

事業の進捗状況、残事業の内容等

事業の進捗状況：用地進捗率88%、事業進捗率26%（平成28年度末予定）  
残事業の内容：設計、埋蔵文化財調査、用地取得、改良工事を推進

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・寺IC～（仮称）鶴町IC間は、平成30年度の暫定2車線供用を目指して整備を進める。
- ・（仮称）鶴町IC～（仮称）三和IC間の暫定2車線整備に向けて整備を進め、全線4車線化は、交通状況を勘案しつつ整備時期等について検討する。

施設の構造や工法の変更等

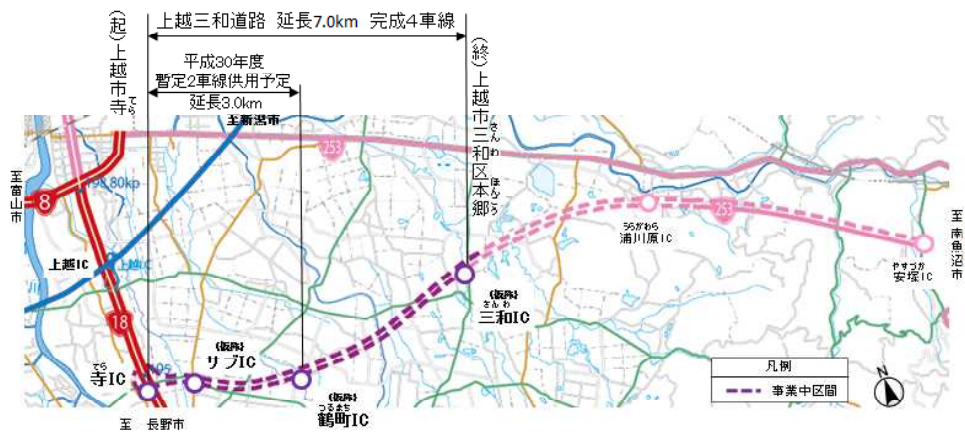
上信越道4車線化におけるトンネル掘削土等、建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。

対応方針：事業継続

対応方針決定の理由

国道253号上越三和道路は、地域高規格道路「上越魚沼地域振興快速道路」延長60kmのうち延長7.0kmの道路であり、広域ネットワークの一部を構成する重要な役割を担っている。  
上越三和道路の整備により、広域的ネットワークの強化、第三次医療施設へのアクセス向上、冬期を含めた道路交通の安全性・信頼性の確保など、多様な効果が見込まれるため事業を継続する。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。